土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川 太田川水系榎川支川11 外 砂防工事に伴う全体計画書作成業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県江田島市沖美町高祖地内							**北緯**	34° 15′ 20.5652″
発注機関	広島県西部建設事務所					**調査期間**	2020年 10月 27日 ～ 2020年 10月 28日			**東経**	132° 23′ 53.6298″
調査業者名		**主任技師**				**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 63.39m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 6°	**使用機種**	**試錐機**	東邦DO-D	
総削孔長	5.00m								**エンジン**	ヤンマー　TF-90M	**ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	62.54	0.85		礫混じり砂質粘土		暗褐			新生代第四紀	古期土石流堆積物。粘土を主体とし、中粒砂を不均質に含む。また、Φ2mm程度の礫を所々に混入する。GL-0.20mまで木根を混入する。
1	62.39	1.00		玉石		淡灰	rd3			古期土石流堆積物。粗粒花崗岩の玉石。コア長15cm。ハンマー強打で割れない。
	61.54	1.85		礫混じり粘土質砂		暗褐				古期土石流堆積物。中粒砂を主体とし、最大Φ5cm程の礫を所々に混入する。GL-1.60～1.65mに細片化した泥岩の礫を含む。GL-1.65～1.85mで砂分を増す。
2 3 4	58.39	5.00		強風化花崗岩		淡褐～灰褐			中生代白亜紀	粗粒花崗岩の強風化部（軟岩I）。棒状コア。強い指圧で崩せ、マサ状になる。岩芯まで風化が進んでいるものの、岩組織は明瞭である。1.85m～2.00mはDL級程度。【DH級】
5 6										

内水位／測定日：10/28 -2.70（▽）、10/27 0.00（▽）、10/28 3.60（▽）

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
21	1.15 / 1.45	5	8	8	21 / 300		
56	2.15 / 2.42	16	17	17 / 70	50 / 270	270	
79	3.15 / 3.34	17	33 / 90		50 / 190	190	
94	4.15 / 4.31	26	24 / 60		50 / 160	160	
167	5.10 / 5.19	50 / 90			50 / 90	90	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験　**原位置試験**

削孔月日：10/27